

平成22年度進路指導説明会 (第2回)

機械工学科就職担当
荒居 善雄

平成22年3月4日

本日の予定

1. 就職指導関係日程について
2. 就職指導の進め方について
3. 就職指導の基準
4. 会社の募集状況について
5. 就職指導について
6. その他

※ 就職関係資料・・・4階コピー室内の閲覧棚に陳列します。

進路指導関係日程

月 日		
12月	18日	第1回進路説明会
3月	4日	第2回進路指導説明会（進路希望調査方法の説明）
3月	4日から 19日まで 22日から 31日まで	進路希望調査 学校推薦の調整 （競合なし：推薦決定。競合あり：調整し推薦決定。希望を再調査）を繰り返す。
4月	1日 その後	会社への推薦状の交付開始 （選考。合格：推薦枠確定。不合格：推薦枠を解放。推薦を受けていない学生に随時推薦状を出す。）を繰り返す。

進路指導の進め方

1 大学院修士課程学生

大学院博士課程への進学希望 ⇒ 指導教員による個別指導

就職希望 ⇒ 就職担当教員による一括指導

2 学部学生

大学院修士課程への進学希望 ⇒ 大学院アドミッション委員による一括指導

就職希望 ⇒ 就職担当教員による一括指導

学校推薦	「会社」が「大学（学科）」に入社希望者の推薦を依頼し、学校側がそれに応じて推薦を行う。被推薦者が入社試験に合格した場合には必ず入社することを保証する（大学側が）ことを前提としたシステムである。 <u>ただし残念ながら被推薦者が入社試験に合格する保証は全くない。</u>
自由応募	学生が個人として入社を交渉する。入社試験に合格（内定）しても学生は自由に拒否することができる。複数の会社に応募可能。就職担当は関与しない。

-
- 当初は自由応募で選抜を進め、最終段階で推薦書を要求するケース：
この場合も、「推薦書を提出する＝入社を確約する」ことを意味することに留意すること。また、そのような場合の推薦は原則として指導教員の推薦状とする。
 - 学校推薦と自由応募を併用する会社：
自由応募で応募すると学校推薦で応募できない会社もある。

★2009年度求人状況

求人会社数＝454社（多くが学校推薦）

訪問会社数＝70社（多くが学校推薦）

★2010年度求人状況（2010年2月26日 現在）

求人会社数＝298社（学校推薦+自由応募）

訪問会社数＝42社（多くが学校推薦）

就職指導の基準

(1) 同一の会社に複数の希望がある場合

- * 2名以上の募集がある場合は、募集数まで応募を認める。
- * 大学院学生と学部生の場合、原則として、**大学院学生の希望を優先する。**
- * 大学院学生同士の場合、相互の話し合いを重視する。
- * 学部学生同士の場合、4年進学時の**成績上位者を優先する。**

(2) 会社推薦と自由応募との関係

- * 推薦は同時期に1社のみを認める。
- * 推薦と自由応募(複数可)の同時進行を認める。
- * 推薦で内定した段階で、自由応募による就職活動を止める。

(3) 就職活動と大学院進学との関係

- * 大学院進学が内定した場合、企業・他大学院への推薦を行わない。

(4) 内定辞退

- * 推薦した会社等の内定を辞退した場合、それ以降の推薦を行わない。

(5) 内定取り消し

- * **会社から内定を取り消された場合**、就職先未定者と同等の扱いをする。

会社の募集状況について

1. 募集活動が早まっている

本来は4月から選考(採用試験)を開始しなければならないが、会社によっては、3月中に実質的な選考を開始する例が見られる。

このため、多くの学生が3月中から就職活動を開始しているが、自由応募による就職活動及び内定は黙認する。

2. 推薦状について

会社によっては、3月中の募集で推薦状が要求される場合がある。しかし、4月以降にならないと推薦状が発行されないことを説明すれば、猶予される。

また、多くの会社で学校推薦重視の方向になっている。

3. 求人数が減少している

多くの会社で募集人数を減少させており、募集を取り止めた例もあるが、本学には多くの会社から求人募集が来ており、求人件数については全く問題ない。

しかし、特定の企業あるいは業種への就職を希望する場合は大学院に進学するなど、就職活動を延期する必要がある。

就職指導について

1. 就職関係資料について

求人票を送ってきた会社のリストを掲示するとともに、各研究室に配布(担当教員が面会した企業に印).

各社の就職関係資料は4F409コピー室の奥の戸棚に番号順に並べる. 番号は会社リストに対応しているので順番を崩さないこと. 資料のコピー室外への持ち出しは厳禁. 就職担当が許可した場合のみ可能. 無断で持ち出した者には推薦業務を行わない.

就職活動に当たって

1. 企業研究を十分に行う

ホームページなどで十分な企業研究を行う。

一般的な知名度は低くても優れた会社は関東近県に数多くある。一部採用活動が早い会社もあるので、情報収集は早目に行う。

企業の名前より仕事の内容で選ぶ。この際、企業(業界)の将来性、自分の適性、などを十分に考慮する。

希望の会社に入れても希望の仕事に就けるかどうかは分からない。

2. 書類の内容をしっかりと確認してから提出する

書類の提出に当たって、内容を十分に確認する。内容の不備、書式の間違いなどで受付を断られたり、受理が遅れる場合がある。

3. 時間は厳守する

書類の提出や面接試験に際して、時間を厳守すること。特に、面接試験では、前もって会場までの道順を確認しておく。当日、電車などが遅れる可能性も考慮しておく。

4. 面接では自信をもって受け答えする

面接時の質問に対し、自信をもって受け答えする。できるだけ論理的な受け答えを心がけ、また誠実に答えるよう努力する。

進路志望調査票の提出について

学生は全員、

「進路志望調査票(第1回)」

を、3月19日 16:00までに yarai@mech.saitama-u.ac.jp に添付メールで送るとともに、
調査票を印刷して機械工学棟4階407室に提出

期日(3月19日 16:00)までに調査票を提出しない学生は、特別の理由がある場合を除き、3月22日から31日の間の調整に加えない。

調査票のダウンロード：<http://zairiki.mech.saitama-u.ac.jp/yarai/syusyoku.html>
または、機械工学科のWebページから研究→材料力学研究室に入り、「進路関係の情報はこちら」をクリックする。調査票(第1回)をダウンロードする。

就職担当教員からの連絡：原則として、機械工学科棟1階の掲示板、上記URL及び各研究室への通知(電子版及び印刷版)

個々の学生への通知：電子メール、又は携帯メールにより行う場合もある。

(電話は特段の緊急時のみに限定)

合否結果の報告書提出について

「就職試験・大学院入試等結果報告書」を上述のHP:「進路関係・・・」からダウンロードする。

次いで、受験した会社・大学院等の合否判定の結果と試験等の概容を上記報告書に記入し、就職担当教員(荒居 yarai@mech.saitama-u.ac.jp)にE-mailにて提出する。

この報告書の提出は学校推薦のみならず自由応募で受けた場合、公務員受験あるいは大学院受験等の場合にも適用される。

この報告書は学生諸君の進路確定状況を把握するためのものであり、また、次年度以降の就職相談の資料として使用する。

受験した会社・大学院等の合否判定があり次第、各社・大学ごとに結果報告書を提出すること。

※調査書、報告書の記載内容に関する個人情報、就職担当者の責任において厳正に守秘される。

平成22年度 就職試験・大学院入試等結果報告書

1	学籍番号		報告月日:平成 年 月 日
2	氏名		
3	会社名・大学院等		
4	受験日		
5	推薦状の有無		
6	合否判定の結果		
7	試験項目		
※該当する欄にチェックを入れてください.			
	<input type="checkbox"/> 筆記試験等	<input type="checkbox"/> 一般教養筆記試験	
		<input type="checkbox"/> 専門(機械工学)科目記述試験	
		<input type="checkbox"/> 適正検査	
		<input type="checkbox"/> 小論文(作文)	
	<input type="checkbox"/> 面接試験	<input type="checkbox"/> 人事面接試験	
		<input type="checkbox"/> 技術面接試験	
		<input type="checkbox"/> 重役面接試験	
		<input type="checkbox"/> その他()	
	<input type="checkbox"/> その他	()	
8	試験の内容	筆記試験の内容(試験時間, 試験方法:記述, 選択など, 試験問題数, 試験問題の内容, など)	
		面接試験の形式(グループ試験, 個人面接, など)	
		面接試験の内容(質問内容, 試験時間, など)	
		小論文内容(テーマ, 試験時間など)	
		その他の特記事項(OBからの助言が助かった, 試験開始時の30分以上前に試験会場に到着した, など)	

進路指導関係日程

月 日		
12月	18日	第1回進路説明会
3月	4日	第2回進路指導説明会（進路希望調査方法の説明）
3月	4日から 19日まで 22日から 31日まで	進路希望調査 学校推薦の調整 （競合なし：推薦決定。競合あり：調整し推薦決定。希望を再調査）を繰り返す。
4月	1日 その後	会社への推薦状の交付開始 （選考。合格：推薦枠確定。不合格：推薦枠を解放。推薦を受けていない学生に随時推薦状を出す。）を繰り返す。